

---

# 麻生リトル・ラグーマン

---



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

## 台風も追いやった熱い夏合宿

夏合宿担当 重住 英彰

今年の夏合宿は大型台風の接近で、出発前には夏合宿の実施すら危ぶまれました。しかし梅雨明け前の17日には強い陽射しの中で出発することが出来ました。現地では初日の18日の午前中だけ小雨の中での練習となりましたが、それ以降は真夏らしい青空に恵まれました。また夕方に雷に見舞われることもなく夕飯前まで十分に練習を行うことが出来、さらに対外試合はもとよりBBQや花火大会に至るまで充実した密度の濃い夏合宿を実施することが出来ました。

今年は新しい試みとして、低学年が山梨県のかえでRSを招き合同練習を行いました。激しい練習を展開している高学年の脇で微笑ましいミルクィ世代がプレーしている姿は新鮮な印象を与えました。また5年生は、同じ山光館に宿泊する秦野・厚木を招いて交流試合を行い、合宿練習の成果を直ちに検証しました。

このように子供とコーチがグラウンドでラグビーに集中できたのは、5年生の夏合宿担当の方々による献身的なご支援のおかげです。本当にお世話になりました。改めて感謝申し上げます。

そして皆さんの協力のもと全て企画を予定どおりにこなし、20日には大渋滞で遅くはなりましたが、全員無事に帰宅しました。ただ6年生小高君の右手親指の骨折は残念でした。夏休みの宿題に支障がないことを祈ります。

そこで各学年の夏合宿の紹介は各チーフコーチのページにお任せし、ここではスクール全体の生活や行事の様子と記録を以下に記載します。

### 【山光館での集団生活】

夏合宿ではラグビーそのものと並んで子供たちの学年縦割りによる集団生活の体験にも重点を置いています。

各6班は6年生の班長と5年生の副班長のもとで共同生活を送りますが、日頃の練習では口をきいたこともない仲間もいるので、なかなか阿吽の呼吸ではコミュニケーションはとれません。

しかしスクールとしては、この生活体験を、5～6年生にはチームマネジメントの体験の場として、また3～4年生にはチームワークの育成の機会として位置付け、班毎に担当コーチを配置して支援しました。

そこで一日の生活を時系列に振り返ってみます。まず起床ですが、緊張のためか大半は早目に起きており寝坊はありません。むしろ課題は素早い身支度であり、不慣れな3年生が朝の集合時間に遅れがちです。

これに直面した6年生の反応は2極化します。一方は大声で「早くしろ」と急かすタイプで、他方は手取り足取りでの手助けです。この差は、家族に弟がいるか否かも大きな要因で、貴重な疑似体験になっているようです。

また中には、この様子を垣間見て遅刻ギリギリを狙う5年生がいましたが、来年は大丈夫でしょうか。

次に食事の際には3～4年生の方が早く集合し、「班長は遊んでいる。」と不満顔で訴えます。そして、いざ食事となると、担当コーチが食べ物の好き嫌いを許しません。すると悪戦苦闘している上級生を横目に見下級生が元気よく「お代わり」とドヤ顔！

また就寝時には、昼間の激しい練習による疲れのためか、あっという間に熟睡してしまい大したトラブルはなかったようです。

そして最終日の朝は、チェックアウトを控えて各自の荷物を整理し、しかも布団のシーツを畳み、全員の布団をあげて部屋の掃除を済ませた上で朝の練習の集合に駆け付けなければなりません。

そこで各班は早朝からバタバタと、何と担当コーチが陣頭指揮している班や率先して掃除をしている班まであらわれ、いささか過保護気味でした。しかし、お陰さまで全員揃って定刻に練習を始めることが出来ました。

こんな兄貴や弟分たちの生活の断面も夏合宿の思い出となってほしいものです。

### 【対外試合の対戦記録】

[菅平ミナラグビージャンボリー]

19日にサニアパークで開催された第9回菅平ミニラグビージャンボリー大会に参加しました。ここでは日頃は接点のない各地のRSを相手に腕試しを挑み、12戦8勝4敗の戦績を挙げました。

この大会の対戦は、低学年(1~2年生)、中学年(3~4年生)、高学年(5~6年生)の括りで行われ、事前には相手チームの学年構成が分かりません。したがって、1年生、3年生、5年生は上級生を相手に苦戦を強いられることがあります。しかし、その悔しい体験が必ず次の展開の糧になります。

〈低学年〉

麻生 ○ 8- 6● 西東京  
麻生 ○ 17- 6● かえで  
麻生 ● 7-10○ みなと  
麻生 ● 4- 8○ 常総ジュニア

〈3年生〉

麻生 ○ 10-4● 長野少年少女  
麻生 ○ 6-0● かえで

〈4年生〉

麻生 ○ 10-1● 宇都宮少年  
麻生 ○ 9-1● 大和

〈5年生〉

麻生 ● 0-12○ 中条  
麻生 ● 4- 5○ 川口

〈6年生〉

麻生 ○ 13-0● 常総ジュニア  
麻生 ○ 10-2● 吉島・魚津

[交流試合(日) : 18日 @Home]

〈5年生〉

麻生 ● 1-8○ 秦野・厚木

[交流試合(月) : 19日 @Away]

〈5年生〉

麻生 ● 1-4○ 都留  
麻生 ● 4-6○ 大和  
麻生 ● 4-5○ 栃木

【スクール内の対抗戦記録】

[コーチ戦]

今年も夏合宿に参加したコーチの人数が限られていたので、恒例のコーチ対向戦はFW7人による14人制で行われました。

三浦組(黄色) ● 1-3○ 重住組(赤色)

前半は赤がNo.8米元,SO上田,CTB 萩原を主体に黄陣内に押し込みながらも決め手に欠けトライを奪えず、両軍ともに重苦しい展開でした。(前半:黄0-0赤)

仕切り直した後半は、まず赤が攻めこみ、密集から抜け出たCTB萩原が先制トライを挙げた。(黄0-1赤)  
これに対して黄は、SH竹川, SO濱田(父),CTB大坪が勢い良く前進して反撃に転じた。しかし中央付近での赤ボールのスクラムからSH清水が左サイドのCTB萩原にボールを展開、すると萩原は一気に右へ切り返してスクラムサイドを抉り、右側をフォローしていたSO上田へボールを繋ぎ追加点を挙げた。(黄0-2赤)  
このまま赤の一方的な展開かと思われた矢先に再びSH竹川が右サイドを攻め上がり、No.8黒須が左へ切り込むと赤の守備陣は恐れ逃げてしまい、楽々とトライを決めた。(黄1-2赤)

これで一気に反撃ムードが高まったが、赤のHO熊谷が左サイドを俊足！で走り抜けとどめのトライを制した。(黄1-3赤)

ここでノーサイド。黄のFL芝田と赤のPR河合が軽い脳震盪を起こしたが幸い大事には至らず一安心でした。(敬称は省略いたしました。)

#### [学年対抗戦]

毎年、夏合宿の最後に行われる学年対抗戦は、合宿の成果を試す絶好の機会です。この対戦で、上級生は力・技術・スピードにおいて「一日の長」を見せ付けますが、下級生は「負けてもともと」と兄貴に激しく当たりますので、意外な展開も見受けられます。

1～2年生 ●5-8○ 3年生  
3年生 ●2-10○ 4年生  
4年生 ●1- 7○ 5年生  
5年生 ●0-15○ 6年生

夏合宿で6年生の目付きが変わりました。これまでは、度々、詰めの甘さを5年生に突かれてピンチを迎えたものですが、今日の6年生は力で5年生を捻伏せました。

#### [6年生対抗戦]

例年、6年生の子供は夏合宿の成果を発揮して6年生コーチと対戦していました。しかし今年は大勢の6年生父母が参加しタグラグビーを行いました。

子供たちが慣れないタグに戸惑っている間に大人が連続的に攻撃を仕掛け、黄色い声に包まれた楽しい大熱戦が展開されました。その中、森(父)さんによる独走トライは圧巻でした。

#### 【菅平賞の授与】

この夏合宿の間に最も頑張った子供の努力を讃えて「菅平賞」を授与しました。授与式では各学年のチーフコーチから菅平賞の受賞者名の発表と選考理由の説明があり、校長から記念品が贈呈されました。

#### 〈低学年：参加者全員〉

かえでRSとの交流、ジャンボリーの参戦、ダボスでの虫取り、兄貴たちと一緒にBBQと盛り沢山のメニューをこなした小さな精鋭10名(1年生4名,2年生6名)全員に記念メダルを贈呈しました。

#### 〈3年生：渡邊 柊也〉

普段は大人しい性格ながら、夏合宿では練習や試合において、率先して「行くぞ」「オーバー」「パス」などと大きな声で仲間の士気を鼓舞し、最も目立った存在でした。

#### 〈4年生：本間 春輝〉

この夏合宿の主要なテーマであった「タックル練習」を一言の愚痴もなく、ひたむきにこなし続けた結果、大きな自信を得て益々ラグビーが好きになりました。



〈5年生：古川 達也〉

全試合を通し身体を張ってFBの役割を全うしチームに貢献しました。随所に痣を作っても一言も愚痴を漏らさず、満身創痍でも決して弱音を吐かず、守備では最後の砦として力強いタックルを決め、攻撃では機を見てライン参加して華麗なトライを決めました。

〈6年生：神下 弘太郎〉

夏合宿中に決して「テント入り」して休むことなく、練習でも対外試合でも人一倍頑張っ全力を発揮し、夏合宿の期間を通して最も伸びました。

（濱田チーフ：この荣誉により、昨年までの「忘れ物王」の汚名返上か？）

これら夏合宿の成果が秋の県大会に生かされることを期待します。

《帰路出発前の珍事》

山光館を出発する直前の昼食の席で、各班の部屋と風呂場脱衣場で発見された忘れ物が公表されました。

最近持ち物への名前の記入が徹底したので、持ち主が不明な品物がめっきり減りました。しかし一方で、忘れ物の常習犯の名前が幾度も連呼されてしまいます。

そして今年の最後の忘れ主の名前は、何と「3年生 渡邊 柊也」「5年生 古川 達也」「6年生 神下 弘太郎」と菅平賞の受賞者ばかりです。

これで、やはり弘太郎の「忘れ物王」の名称は不滅のようです。

さらに、昼食を終えてバスに乗車する直前に、下駄箱で3年生の渡邊 柊也の菅平賞記念品が忘れ物として発見されました。

これで「忘れ物王」は世代交替か？

はたまた忘れ物王が菅平賞の近道なのか？

以上

## 2015年夏合宿の総括

幹事長 加賀

合宿に参加したコーチとお手伝いの父母の皆さんお疲れ様でした。以下に夏合宿の総括を報告します。

1. 参加者は小学生単独で、ピーク116名が参加し、昨年の125名から9名減少した。

日 程	17(金)				18(土)				19(日)				20(月)		
	バス往路		夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	バス復路
生徒	52		52	52	53	55	55	55	55	56	56	56	56	56	54
コーチ男	13		13	14	27	30	33	32	33	34	32	28	28	24	15
母	9		9	9	10	11	12	12	13	12	15	12	12	12	11
父	0		0	0	1	1	2	2	2	4	7	4	4	3	2
子供	3		3	3	3	3	7	7	7	9	6	5	5	3	3
合計	77		77	78	94	100	109	108	110	115	116	105	105	98	85
去年	79		81	83	93	102	104	105	108	125	109	99	99	96	83

2. 行きのバスは、17時03分黒川出発で国立ICから八王子・圏央道経由で、途中上里SAで夕食の弁当を車中で食べ、東部湯の丸SAでトイレ休憩して予定通り21時30分過ぎに到着しました。帰りは13時8分出発、横川SAと狭山PAでトイレ休憩し、予定より遅い19時に帰着しました。バスは行き千曲バス2台、帰り神奈中バスのトイレ付2台で車中ではDVDで楽しみました。
3. 宿は、秦野・厚木RSが同宿で、女性はシダーハウスを利用し、新館に子供7班と3～6年コーチ、旧館に低学年1班と低学年、4年・6年コーチとして、大広間での宿泊はなしで対応しました。班担当コーチは1班から金・小山田・野田・竹川・菅田・宮澤コーチが専任して食事や班長の相談相手などを担当しました。また班長には目覚まし時計としてストップウォッチを支給しました。
4. 天気は、梅雨明け前で土曜朝からの小雨で朝食はバーベキューコーナーで採りましたが、午後と日・月は青空で小学校裏の山光館第2グラウンドで行い、今シーズン初めての柔らかな芝生を全面利用できました。1,2年生も10名が参加しかえでRSとの交流試合やダボスでの虫取りを楽しみました。
5. 花火は、グリーンプラザでのバーベキューの後に、グラウンドに移動して芝田・山崎・大坪・小山田・河合コーチが打ち上げる迫力のある花火に子供たちも喜んで頂きましたが、調子に乗って全ての花火を打ち上げ、アンコール対応できなかったことが残念です。花火師全員反省。
6. 夜のコーチミーティングは大広間を利用して開催され、原則22時までと言うことで23時には終了し、その後は各部屋での2次会でしたが、最初の夜はママたちも全員参加していただきました。総務部は熊谷部長以下、夏川・金・原田・宮澤・菅田コーチが担当していただき、初日から冷えたビールが飲み、その後も缶ビール・チューハイ・焼酎と。久しぶり参加の矢部シェフ、手作り料理は少なかったですが、おつまみや缶詰なども増えて美味いつまみが提供されました。会費は昨年同様ですが、年々酒量の減少やお酒・つまみの事前購入などで上手く収まりました。また、5,6年父母からのビール差し入れと初参加夏川コーチからの古い日本酒の差し入れを頂き、ありがとうございました。
7. 試合は19日にミニジャンボリーに全学年が参加し、4,5年は4試合、他は2試合行い8勝4敗5年は大和とかえでRSとも交流試合を行い2敗でした。
8. コーチの試合は、20日月曜日の朝食中に10分ハーフで行い、前半は0:0、後半は重住チームの萩原、上田、熊谷のトライに三浦チームは黒須のトライのみで1:3で重住チームの勝利でした。レフリー：佐藤満
9. けが人は、6年生が初日に右手親指骨折1人した他は大きな怪我もなく、3年生1人がホームシックで救急対応部屋を使いました。コーチの試合では芝田、河合が軽い脳しんとう程度でした。
10. 宿での水分補給は持参したコップにて廊下に設置したジャグジーにて麦茶をサービスしました。また食事中は各班に担当コーチが入って、最後の1人が食べ終わるまで見守りました。

一昨年の反省から班長と副班長の指名及び班割りを7/1に行い、子供たちに周知させ、班長には班長としてやることをまとめたマニュアルとストップウォッチを配布しました。  
忘れ物は毎年多くありますが、今年は菅平賞を獲得した3選手が目立ちました。  
集合時間などは1班のみいつも遅くなりましたが、最後はきちんと守ることができました。  
ジャンボリーの弁当は昨年の食中毒があり、一括注文から各宿の個別対応となりましたが、今まで通りに宿・会場にて保冷に努めて対応しました。

最後に夏合宿反省会兼打上げは9月6日に実施予定で、反省項目は以下の通りです。

①207号室の網戸の不始末とシダーハウス宿泊者のチェックアウト不備

以上

## 夏合宿を終えて

高学年技術指導 上田 博朗

夏合宿お疲れ様でした。今年は年度初めから基本にこだわって練習を積み重ねることを目標にしましたが、春先はイベント等が多く、なかなか徹底した基本の反復に取り組みずこの合宿を迎えることになりました。各学年チーフコーチを中心に事前に入念なメニューの組み立てをされていたようです。

5年生はチームディフェンスに重点を置いておられ、合宿前に事前にプリントを配布し勉強してから望んでいました。合宿2日目の夜のミーティングで竹川コーチから解説が行われましたが、驚くほどみんなの理解度が高く、想定外の質問や解答が飛び出していました。みんながとてもラグビーが好きで一生懸命取り組んでいるからこそだと思います。学校の勉強も同様なことを期待します。

また、今合宿でジャンボリーを含め7試合もこなしてきたこともかなり異例ではないでしょうか？試合結果自体は満足のものではなかったでしょうが、上級生中心の相手にも練習してきたことを出そうとしている姿勢が随所に見られ、とても期待の持てる内容だったと思います。

今年の5年生は試合中でも自分たちで悪いところを指摘し合い、修正する力を持っています。これも、ラグビー好きのメンバーが多く、よく勉強している所以だと思います。県大会までにさらにチーム力は伸びることでしょう。

6年生については、春から夏にかけて対外試合等でも思うような内容のプレーができていませんでした。みんな自信がないようにも映りました。コーチ間でもずいぶんミーティングを重ね、最後は校長からある「想い」がペーパーで配られました。主に子供たちの持つ潜在能力を引き出すための内容でした。

今年の6年生は、トップスターこそいませんが全員が特徴を持ち平均点以上のプレーができることです。このような学年もなかなか珍しいのですが、その特徴を何とか引き出そうと、合宿前くらいから校長の厳しい檄が飛ぶ回数も増えていました。練習内容もかなり緻密に組み上げて取り組んだ合宿でしたが、驚くほどみんなの顔つきが変わってきたのがとてもうれしかったです。練習内容も順調にこなすことができ、レベルアップを存分に実感できました。また、試合の内容も満足できるものでした。

もう一度、ミニ合宿で強度の強いメニューをこなしてもらい、強豪ぞろいの組に入った県大会に突入です。私個人としては、結果よりも内容にこだわって挑んでほしいと思っています。

## 夏合宿を終えて

中学年技術指導 米元 勇一郎

選手のみならず、コーチの方々、そしてご父母の皆さま、合宿お疲れ様でした。今回の合宿、中学年はタックルに重点を置いて練習しました。走ってる相手に対して体より先に手が出てしまうという課題を克服したかったからです。そこで、一番入りやすいであろうサイドタックルをメインに繰り返し行いました。最初は相手との距離感や相手を追っていくコースがうまくつかめずにいた子もいましたが、コツをつかんでくるとみんな面白いようにタックルが決まってきました。今までタックルが苦手な子も段々と顔つきに自信が出てきて、タックル後に「ドヤ顔」する子も増えていきました。(笑)次の日の試合でもタックルするのが楽しいように見えました。正直な所、1日の練習だけではそんなに効果は出ないだろうと思っていましたが、子供達の成長は想像以上でした。きっかけをつかむと子供達はこんなにもすぐに成長するのだということを気づかせて貰いました。これからも「成功体験」をいかに多くさせてあげられるかを考えながら練習メニューを考えていきたいと思っています。

<わかれ>

調布短大のグラウンドで、福山さんと話しをした。マリアンヌ大学病院を退院直後のことでした。

病名は胸部大動脈破裂とのことでした。パイプを繋いでみたが再発が心配だなど。

その後、1年もたたず亡くなられた。平成8年のことである。

通夜、葬儀は藤沢市の山奥、盛岩寺でおこなわれた。参会者は少なかった。芸能人らしき人は来ていない。お骨は弟さんが持っていかれた。なんでも関西のほうにお寺があるとのことだった。

お子さんもなく、厳しい人生であったが本人は満足していたと思われる。

享年、60余才。

狛江の駅をおり、バスで慈恵医大病院はすぐだった。

藤田さんのお見舞いである。病室を訪ねると、すぐ起き上がってきて別の部屋にいった。

チョットやつれているように感じたが、案外元気だった。体重もあまり減っているに見えない。

ラグビーの話はあまりしなかった。藤田さんのほうが避けていたようだ。病名は知らない。

帰りもエレベーターのところまで送ってくれた。

それから10日たったかどうか、亡くなられたと知らせが届いた。平成14年5月のことである。

お別れ会は多くの人にあふれた。人徳のもたらすものであった。

両氏とも剛毅なところ、優しい気持ちを持ち続けたところなど良く似かよっている。

人生の長短など問題ないんだと言わんばかり。

歌の文句ではないが”我が人生に悔いはない”といったところか。羨ましいかぎり。

<おわりに>

読み返してみると、私のこと、福山さんのことが多かったようです。

ただ、年譜のようなかたちはとりたくなかった。多少のエピソードも加えてみました。

ラグビーに関していえば、勝敗などは抜きにして語りたかった。

今昔物語と言うことだったが“昔”ばかりで“今”がない。これからは若い人に引き継いで語ってもらいたい。

去っていったコーチを含め、現在のコーチ陣、OBとなった生徒たち、現在の生徒たち、そして父母の皆さんのご協力があって当麻生ラグビースクールは育ってきました。

過去を見つめ、思い返してみるのも悪くはない。

《編集委員より》

今号で『麻生ラグビースクールの今昔物語』は最終回です。

次号より佐藤コーチによる『勉強会あれこれ』を連載します。ご期待ください。

## DAGS夏合宿



### 神奈川県DAGS 4年目の夏

DAGS校長 小坂 頼史

今年の菅平は天候に恵まれ予定通りの練習メニューを消化でき、1年生の2名、軽度の熱中症が出ましたが、大きな怪我もなく無事に終了することができました。

春は横浜、田園に負け、1からの再スタート。DAGSの最大の弱点【けが人】。けが人が出ると控えの選手がいない。大幅なポジション変更をしないと穴埋めができない。選手層の薄さに苦労しています。

怪我をしない体作りを年頭に体の使い方を意識させる練習を導入。なかなかすぐには効果を発揮しませんが、着実に意識は変わって来ています。

合宿最終日、同志社香里中学との練習試合。合宿中大きな怪我もなくほぼベストメンバーでの最終戦。さすが関西でも指折りの中学チーム、歯が立ちませんでした。ワイドに攻めてくるチームに対してのディフェンス、攻撃パターンの自由性が少しずつですが、良くなってきました。まだまだ課題山積ですが、秋季大会優勝をめざし修正して行きたいと思っています。応援の方、よろしくお願い致します。

U13は、少ない人数ですが、群馬県のシルクスにぼろ負けしたものの、ファイナルカップ優勝チーム【鎌倉】に勝利、リコーカップ優勝の世田谷に勝利しました。これからのいいチームなると思います。

夏合宿でお手伝いしていただいたご父母、練習台になっていただいた親コーチ、OBの皆様、本当にありがとうございます。この場をかりてお礼を申し上げます。

『本当にありがとうございました。』

## 秋に向けて

DAGSコーチ 曾我 浩

今年のDAGSの夏合宿は、7月24日（金）から、27日（月）まで行われました。

今回の合宿参加で、練習以外の時間に、仲間と話し合ったこと、自分で感じたこと、考えたこと、部屋で楽しかったこと、つまらなかったことなど、合宿でしか体験できなかったことを、これから、一人ひとりがラグビーに限らず成長して行ってほしいと思います。

Aチームは、秋の大会に向けて、体をしっかり作って春のリベンジを、Cチームは、ポジションも確定していない子もいるなかで、どんどん話し合っ、自分たちがどんなチームになりたいか考えてみてください。

大事なのは、練習時間だけでなく、練習に行く途中に考えたこととか、何気なく思いついたこととかを、ラグビーの成長につなげていくことです。

「ラグビー帳をつけるように」、言われていますが、ノートを開いてから何を書こうか考えるのではなく、気がついたことをラグビー帳に書き込む習慣を身につけてください。

ご父兄のみなさま、DAGSは、中学時代だけでなく、その先も見据えて、ケガをしないしっかりとした体力づくりをするために、基礎的な練習に重点をおいています。

この合宿で、強豪チームはよく走っています。前後半、走りきる体力を作るためにも、しっかりと食事をとらせてください。

引き続き、ご支援よろしく申し上げます。

## 夏合宿で見つけた課題

DAGS3年 伊藤大吉

今回の合宿は、練習試合が多く組まれていて、そこから出た課題を克服することができました。

チームとしての今後の課題は、点を奪われた後の修正力。そしてコミュニケーションだと自分は思います。

上位のチームは、試合前や試合中の会話の量が自分たちより明らかに多くリーダーが上手く指揮をとりコーチがいなくても、選手間での意思統一がしっかりとしています。

だから、同じミスをするのが少ないです。

このようなことが、まだ上位のチームよりも自分たちは劣っていると思います。

これからは、自分がバイスキャプテンとして話し合う中で中心となり全員が同じ意識を持ちながらプレーできる状況を作れるようになりたいです。

また、そのためには大学やトップリーグ、海外の試合を見て自分自身のラグビーに対する知識をより深めて行く事も必要になってきます。

このような課題を頭に入れて試合を送ることができれば少しでもチームの力は上がると思います。

春の大会では、良い結果が出せず悔しい思いをしたので、秋の大会では支えてくださったコーチや父母の方々に良い結果という形で恩返しをして、来年度のチームに繋がりたいと思います。

## 合宿後、秋に向けて

DAGS3年 齋藤 裕太

4日間の合宿、3年間で一番疲れたけれど、得るものも多く充実した合宿だった。この後も気を抜かず、秋の大会に向けて練習を重ねて、全勝できるように頑張りたい。

## 最後の合宿

DAGS3年 萩原 睦

今年はDAGS最後の合宿。僕は「1日1日、出し切る」という目標をたてました。あともう1つ「タックルの成功率を上げる」という目標をたてました。

1つ目の目標は、全ての日に全力でやれたので達成できたと思います。

2つ目の目標は、全ての試合でタックルをはずさなかったのも、これも達成できたと思います。

この最後の合宿で学んだことを、秋の大会にいかしていきたいです。

## はじめての合宿

DAGS 2年 海老原 翔空

僕は去年けがをして合宿に行けませんでした。今年中学になって初めての合宿に行きました。行く前は不安で溢れていました。でも、行くと先輩も優しくとても楽しかった。

練習試合での反省はいっぱいありました。

練習での反省はショットの時に姿勢が高く、声も出ていなかった事です。この反省は次からの練習で少しずつでもなおしていきたいと思います。

同志社香里との試合での反省はしっかり、ダウンボール出来ていなかったこと。小坂コーチにも言われましたが、ディフェンスのときにもう一歩前に出るということです。

シルクスとの試合の反省はウィングに回した時に自分がフォローに行っていない事と相手を引きつげずにパスをしてしまった事です。

青学との試合ではクロスをされた時に自分のマークマンではない人を見てしまった。本当は自分のマークマンを見ればよかったと思う。

ベイ東京との試合での反省は相手がウィングまでボールをまわしていた、まわす前に自分が前で、倒せばよかった。

この合宿での反省は通常練習などで、なおしていきたい。家で、できることはやっていきたい。そして、これからの練習を全力で頑張りたいです。

## 夏合宿を終えて

DAGS 2年 古田 空

中学生になって二回目の菅平。太陽がじりじりと照りつけるなか秋に向けてレベルアップする夏合宿が始まりました。一日目は強敵東京ベイと戦い、とても歯がゆい結果になってしまいました。その日の夜自分たちでも反省をし、コーチの方々からも助言をいただきました。また、グラウンドのポイントごとの作戦プランを決め、チームの意識を統一することができました。そんな中で迎えた二日目。青山学院とシルクスと試合をしました。その試合ではチームの意識を統一できて一つ一つプランを考えることができました。自分自身のプレーは青山学院戦では少しバテてしまっていて走れていませんでしたが、シルクス戦ではトライをしたり足をかき続けたりすることができていたので良かったと思います。

来年の夏合宿では最後の同志社香里戦まで怪我なく迎えて勝利できるように気をつけていたいです。そして、いよいよ秋季大会が始まるので、それに向けてまずは怪我をしっかりと治して練習に励んでいきたいと思っています。

## 2年目の合宿

DAGS 2年 齋藤 裕人

今年の合宿は学ぶことが多かったです。高学年の試合に出たり、低学年の試合に出たりして色々なことを学びました。学ぶこともありました。課題もできました。今年の合宿でできた課題を秋の大会までに全て無くして行きたいと思っています。

## 合宿に参加して

DAGS 1年 吉田 隼輔

小学生の時は今の3分の1位のグラウンドでラグビーをやっていましたが、中学生になりグラウンドが広くなりました。

この事から体力をつけなければならないのです。合宿では当然のように走り、自分のために走って体力が付き、走るのが早くなるとうれしいので最後まで走り続けられました。

これからももっと体力をつけてがんばりたいです。



#### DAGS初めての合宿

DAGS1年 小坂 海歩

DAGSの合宿と言えば「走る」ことが中心かと思って、覚悟して行ったのですが、行ってみたら走ることは少なく最初は楽しかった、思いましたが、練習や試合を重ねるごとに辛くなっていきました。

試合が多く、2試合続けてやるときもありました。体力もあまりないせいかそのため最後まで走り続けることができず、ケガ人を走らせてしまいました。

今回の合宿で少しは体力がついたと思いますが、まだまだ足りないと思います。

これからも合宿で得たことを大切に、もっと走れるようにしたいと思います。

#### DAGS初めての合宿

DAGS1年 横尾 瑛

合宿に行く時に兄から大変だと聞いていたので行く前から不安でした。練習は走るメニューが多く体力がまだないのでついて行くだけで精一杯でした。試合でも相手の体も大きくタックルもあまりできませんでした。

これからもっと練習してタックルがうまくなりたいです。体力もないのでこれからの練習がんばります！一年生のメンバーが少ないけどみんなで力を合わせて全勝優勝目指してがんばります！

#### 辛かった夏合宿

DAGS1年 萬場 康生

中学初めての夏合宿は、グリーンや、YCから来た人たちと一緒に部屋で暮らして、仲も前よりよくなったと思います。

初日の試合は、勝って嬉しかったけど、その後の練習が辛かったです。

他の練習も楽しかったり辛かったりしたけどケガをしてしまったので次からケガをしないように気をつけたいです。

## 6年生



(上段左から)久松豊夢、小高佑、濱田昂輝、萩原起、神下弘太郎、原田太陽、村松京弥、池田昂輝、都留茉奈実  
(下段左から)竹川正剛、京屋洸琉、森天、三浦校長、海老原銀次、宮澤樹、坂脇優来  
※今回は参加者のみ

### 頑張った夏合宿

6年チーフ 濱田 正行

1年生から見ている子供達も6年生となり、今年は小学部最後の夏合宿です。(私自身も7回目の菅平です)今年も19名中、残念ながら3名が不参加となりましたが受験組もほぼ集まり、賑やかな合宿となりました。

夏合宿の目標を基礎の反復に重点を置き、上田コーチ主導にて基本姿勢やラック・モールの入り方等に時間を割きました。それによって正しい姿勢や本来持っている力強いプレーを引き出したいと考えていました。練習自体は当たりの練習が多かったせいか人が痛む子供も出ましたが試合前までのたった1.5日で見違えるような力強いプレーが出来るようになりました。また、恒例の校長による、熱い言葉と練習参加が子供達の意識を高め、気持ちを変えて行った事が大きいと思います。特に練習及び試合時の掛け声は途中から参加したママがビックリする位に声が出ていると驚いていた程です。

二日目の試合については勝ち負けより内容重視で「やりきる」気持で挑みました。試合内容としては2戦行い、どちらも大勝する事が出来、練習の成果は十分発揮出来たと思います。また、今回からキャプテンの銀次も正式に復帰し、トライを上げる事も出来たので今後チームとして更にまとまって行くのを期待しています。試合後の練習では一歩進んで新しいサインプレーの練習も出来、スピード感あるプレーを見る事が出来ました。

今回の夏合宿では練習が進むにつれて徐々に子供達の当りが強くなり、それに伴ってコーチ陣は疲労と痛みが増しました。…がそれはどうでも良いですね。逆にうれしい限りです。試合時と最終日には沢山の父母も応援に来て頂き、久しぶりに賑やかな状態となり、子供達のフォローも万全にして頂きました。

最後に、今回の菅平賞は弘太郎となりました。今年もコーチ陣で協議しましたが沢山の名前が挙がりました。

選考理由としては合宿期間中で「一番伸びた子供」、「休まず参加」、「声が出ていた」としていましたが「伸びしろ」だけで考えると弘太郎以外にも沢山もいました。また、通常の体調不良ではなく、一生懸命練習した結果、体調不良や怪我をしてしまった子供も沢山いました。

但し、体調管理と合わせて怪我を防止する為に今年から導入している体幹トレーニングも含めて怪我をしない身体や動き方も今後重要になってきます。

その中で激しいプレーを続けながら怪我無く、夏合宿を乗り切った弘太郎を選びました。(忘れ物が多い事は選考条件に入っていません…)

これから県大会となりますが受験組の不参加も多くなります。

参加出来るメンバーで悔いの残らないような試合を行いたいと思います。

父母の方々、コーチ陣で力を合わせて子供たちを盛り上げて行きましょう！

### 夏合宿の目的と思い出

6年生サブチーフコーチ 齋川 宏

スクールでの最後の菅平、みんな良く頑張りました。

最終日の親子タグラグビーは楽しめましたか？写真を見る限り、お父さんお母さんの方が楽しそうでしたが。

さて、良く頑張った、の話はこれでお終い。

本来の夏合宿の目的は秋の県大会に向けての技術、体力、戦術など、修得しておくべき基本を集中練習することです。この基本をこれからの練習でスキルとして、身に付けていかなければなりません。「思い出」としての夏合宿は3、4年生までです。初日に大声で表明した目標は、みんな達成できましたか？それぞれで自己評価して下さい。

8月後半から練習を再開しますが、ミニ合宿から秋口に掛けての練習期間は長くはありません。夏合宿で自分なりに「気が付いたプレー」「身に付けたプレー」「頑張れたプレー」を菅平の一過性で終わらせないで下さい。君たちが一番「伸びる」時期に、「今いるのだ」という事を理解して下さい。日々の練習の積み重ねの先に結果があります。目標とする結果は一人ひとり違ったとしても、「6年生の最後」の時に菅平の練習が結果に繋がったなあ、と思わせるなら、それは最高の夏合宿です。

### 最後の夏合宿

6年コーチ 井上 正敏

小学部最後の夏合宿、みんなそれぞれに大きく成長したと感じています。合宿初日午前中の雨の中、声もほとんど出ず、怒られてばかりでしたね。しかし、三日間の厳しい練習を通して声も出るようになり、試合でもお互いに声を掛け合い、勢いに乗り2連勝となりました。声だけじゃなく、アタリも格段と力強くなり、アタリを受けるコーチとしては痛いけれどうれしい気持ちとなりました。みんな菅平の苦しい練習の中で何かをつかんで、プレーだけじゃく、人間的にも成長したと思います。

菅平でつかんだものをこれからの稲城グラウンドの練習、ミニ合宿でもっと大きな力に変え、県大会・フアィナルカップで勝利を勝ち取ろう！

### 初の夏合宿を終えて

6年コーチ 夏川 純一

今年からコーチとして麻生ラグビースクールに参加させていただいております。

合宿前からコーチ陣で集まり、どうしたら6年生が十分に実力を発揮できるようになるか、いろいろと議論し、準備して合宿を迎えました。

残念ながら初日からけが人や、体調不良のためテント入りなど、全員が全員本調子ではない状況だったと思いますが、私自身の思惑を超えて6年生の成長が本当に著しく、たった数日の合宿でも、当たりを受ける手が日々つらくなっていったのが驚きでした。

いい感じですよ！この調子で地力をあげ、目標である「県大会優勝」を目指して一緒にがんばっていきましょう！

最後に合宿を支えていただきました父母の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

## 小学生最後の夏合宿

6年 キャプテン 海老原銀次

小学生最後の合宿での目標は「低いタックル」でした。ぼくは低いタックルをするように気をつけていたけど、低いタックルがなかなか出来なかった。

合宿二日目のアップの時に足が痛くなってしまい、練習に参加できないまま二日目の練習が終わってしまってた。くやしかった。

次の日のサニアパークでの試合は2勝でうれしかった。

最後の日のランパスはみんなで声を出したから あまり疲れなかった。

次の目標は みんなで楽しくラグビーをする。です。

## 夏合宿

6年 バイスキャプテン 森 天

僕が、夏合宿で一番頑張ったことは、ひとつひとつのプレーに集中することです。

前の僕は、疲れてくると集中力が切れて、雑なパス、弱い当たり、姿勢の高いタックルになっていました。

合宿では、頑張ってる疲れているときも集中して練習をしました、

そうしたら、練習している内容がいつもより理解できるようになって、試合でも練習したことを出せるようになりました。

これからも集中して、ひとつひとつのプレーを大事にします。



## 夏合宿

6年 神下 弘太郎

今回は、あくまで毎年ある夏合宿という態度でのぞんだ。特に、今回は最後の夏合宿だから～などとはおもわずやった。最後だから、とかまだ後があるから、とかで加減を変えるのは、違う、と思ったからだ。しかし合宿が終わってみるとなにかずれている様にかんじる。やはり、いつも練習を頑張っていたとしても、だ。校長が言っておられた様にとにかくどこかでスイッチを入れ変わらなければならなかったのでは、と今では思う。最初から全力なら、その全力以上を目指せば良かったのだと思う。まあ、そんな風に最初から自分としては間違った風に思っていたから 100%悔いなし、とはならなかったと思う。

自分の夏合宿の目標は「プレー中は走り続ける事。」自分が試合等でなかなかエンジンがかからないのでこの目標にした。「まず走ることから。」

しかし、この目標を立てた後に、すぐ気がついた。前から言われていた事でもあるが、走れるには走れるが1つ1つのプレーに対しての集中力が試合、練習中ずっと持続、ということは無理だ。せいぜい持って2

分の1程度。だから、目標を少し変えた。「プレーに対しての集中力が続くまでは、意識して走り続ける事。」惜しむらくは、この目標にしたのが夏合宿のかなり後半だった事だ。だからこれは県大会に活かしたい。やる事は1つ。

「手を抜かず、プレーに対しての集中力が続くまでは意識して走り続ける事。」

この夏合宿で培った教訓と目標を胸に県大会にのぞみたい。

#### 最後で最高

6年 原田 太陽

合宿に行くバスの中、ぼくの心には不安があった。

それは練習のことで食事である。練習がきついのは当たり前だが、食の細いぼくにとっては宿の食事を完食することは大変な事だったからだ。

去年の6年生が苦勞していた姿を見ていたのでよけいに不安だったのかもしれない。でも実際はあまり問題はなく、逆に不安が晴れ自信が出てきました。練習は予想通りとてきつかったが、どんなにきつても声を出して力を出しました。ぼくはこの三日間、今までで一番声を出したかもしれないと思います。

そして最後のサニアパークは2連勝のすばらしい結果で終わり、晴れ晴れとした気持ちでした。最後の合宿は超きついで最高の合宿にできたと思います。

#### 最後の夏合宿

6年 宮澤 樹

小学校最後の夏合宿の目標は、内側をぬかれないようにすることでした。ピラーの練習で、内側をぬかれないようにする練習ができたと思います。

日曜日の試合では、2試合とも前半だけ出ました。どっちとも勝ったけど、僕は1回もトライができませんでした。でもこのポジションのことであると思うので、次からも外に回っていきたくと思います。月曜日は5年生と試合をし、ここでは1回トライをできて、目標の内側をぬかれないこともできたと思います。

今回の反省は、練習は休まなかったけど、もっと積極的に練習に取り組み、できるだけたくさんやるということに気がつけたいです。

#### 何度も来た菅平

6年 竹川 正剛

菅平に来るのは、幼稚園の頃から数えると今年で8回目です。

夏の定番でしたが、小学校最高学年の今年はずっと違って少し緊張していました。毎年6年生の練習はキツそうだなと感じていたからです。

実際は体力的にはきつかったけどテントには行かないと決めていたし、心は疲れませんでした。

一つ一つの行事が進んでいくと少しさみしさもありました。このチームとしてジャンボリーも最後の試合だと感じながらやりました。これからの練習では夏合宿でやった声を出し仲間とコミュニケーションをとることを忘れずにやっていく、まだタックルに対して気持ちが弱いので自信を持てるように練習します。

後、5年生のお母さん達は朝早くからお水などのサポートをして下さりありがとうございました。

この合宿は忘れません。またラグビーをしに菅平に来ます。

#### 夏合宿

6年 小高 佑

この合宿でぼくは骨折しました。みんなとっても必死にがんばっているところを見ると練習にも参加したかったし、試合にも出たかったです。

合宿では何も達成できなかったから今後の練習を本気でがんばりたいです。



## 最後の夏合宿

6年 萩原 起

今回の合宿が最後の合宿でした。

僕の今回の合宿の目標は2つあって1つ目は利き手と逆のパスでスクリーンを投げられるようにすることです。水飲み休憩の時に、樹君とパスの練習をして、なんとか右パスのスクリーンが投げられるようになりました。

2つ目は、みんなに休まず指示をだすことです。

いつもは指示が出せなかったり、支持を出したけど声が小さくて聞こえなかったりしていたのでこれを目標にしました。

どのような指示を出すかコーチに教えてもらい、試合では休まず指示を出すことができたのでよかったです。次からは自分の近くだけでなくフルバックやウイングにも指示を出していきたいです。

## 夏合宿できたこと、できなかったこと

6年 都留 光平

できたことは、相手に強くあたれるようになったこと。新しく学んだことは、キックオフの時、相手のいないところをねらってけること。

できなかったことは、しっかり声を出すこと。具体的には、モールやラックなどが解消された時に、それに入っていた人にブレイクといったりする声が小さかったり、声をかけるのが遅かったりするから、そこを直す必要があると感じた。

## 夏合宿

6年 都留 茉奈実

今回の合宿では、ちゅうちょせずにプレーすることが目標でした。

そのためアタックディフェンスの練習の時は、自分のいく場所に重点をおき、自分のプレーを一所けん命にやり、他のプレーのじゃまにならないようにしようと考えました。

ですが実際試合になると、いるべき人がモールに入ってしまうこともありました。そんな時にりんき応へんにうごけなかったり、声をかけたりできなかったことが反省点です。

今回は小学生最後の夏合宿でしたが、一回もテントに行かずにすんだのは良かったと思います。

## 合宿

6年 坂脇 優来

今年の合宿は、とてもキツくて辛かったけれど、今までよりも力を出せた気がします。練習の時には注意を受けることもありましたが、ほめられた時にはとてもうれしかったです。今までよりも声をたくさん出したことは、自分でも良かったと思います。

試合では走って疲れたけれど、楽しむことができました。トライを1本取ることができたことは、とてもうれしかったです。

県大会には出られない試合もあるかも知れないけれど、出た時には全力でがんばりたいです。

これからの練習では、合宿で注意を受けたところを出来るように取り組みたいです。

## 夏合宿

6年 小高佑の父 聡

初日の骨折によりほとんどの時間が見学となってしまった夏合宿。昨年は風邪で欠席となった菅平で、今年こそはの気持ちで臨んだ本人も悔しかったと思います。

残りの約半年、この気持ちを忘れずに、とにかく悔いのないよう思いっきりやってくれればと思います。

校長、コーチのみなさん、残すところあとわずかですが、よろしく願います。

私も県大会・ファイナルカップは全試合参加をめざします！

## エンジョイ ラグビー

6年 萩原 起の父

次男の起もついに麻生ラグビースクール最後の合宿となってしまいました。これまでは長男と一緒にみていましたが、今回はどっぴりと起にはまることができました。昔のような根性はありませんが、ずいぶんと成長を感じることができました。特に周りを見る力はかなりついたと思います。ここにスピードやスタミナ、タックルなどのエッセンスが備わっていけば、プレーヤーとしての可能性は大きくなります。ここまで長い目で見ていただいたコーチやスタッフの方、本当に感謝しております。そして、起にもお礼を言いたいです。ラグビーをやってくれてありがとう。同じ話題を共有できることは何よりも幸せです。これからもラグビーをエンジョイして、ファイナルカップを共に闘いましょう！

## 夏合宿 6年

神下弘太郎の父 高弘

菅平は今年も忘れられない時間をくれました。

弘太郎の成長を鮮やかに映し出してくれた時間は何ものにも代え難いものとなりました。

彼の昨年まで見られた甘えが消え、コーチの方々のおかげで仲間とともに最後まで頑張り通すことができました。三浦校長が最後に、「今年の6年生が、ここまで化けるとは思わなかった」とコメント頂いた言葉通り、チームとしてもこの合宿で急激に成長してくれました。サニアパークでの対外試合では、今までにない集中力、ガッツ、加えて冷静にコースを読むことが出来るなど、その変化には驚かされました。

そして、本人は6年生にして、遂に忘れ物賞(斎川コーチ賞)ではない勲章をいただいた自信が、県大会での充実、さらには今後の人生の糧となってくれるものと確信しています。そして、コーチの方々には3年生からの長きに亘り、弘太郎の成長を見て頂き、本当に感謝しています。有難うございました。

## 夏合宿

6年 森天の母 和恵

去年はジャンボリーの応援だけでしたが、今年は初めから最後まで参加させて頂きました。

短い時間の中でどんどん成長したくましくなっていく子供たちの姿を間近で応援できたことは、私にとってもとても良い経験になりました。

子供たち自身がやる気になれば、どんなに苦しくても頑張り、達成することができるというところを見せてもらいました。わが子のように思えて仕方ないチーム全員をこれからも応援していきます。県大会も頑張ろう！！



## 夏合宿

6年 森天の父 敦

天は、昨年に続き、2度目の合宿参加。  
一家全員での参加となり、合宿の全体が見られてとてもよかったです  
これまで、100%の力を出し切れなかった(と父と母は感じていました)天が、「全力でぶつかってこい！！」と校長に活をいれられ、文字通り全身で思い切りぶつかっていく様は、見ていて気持ちがよかったですし、悔しさをばねに、自分の壁を乗り越えた感じがして、とてもうれしく思いました。  
(翌日の試合でも、チーム全体が見違えるような活躍してましたね)  
校長をはじめ、コーチの皆様、スクールの皆様、ありがとうございました。



## 感動の夏合宿

6年 萩原 起の母 信子

子ども3人がお世話になっているので、稲城での練習もあっちを見たり、こっちを見たり。起の練習だけをずっと見ていたのは、この合宿が初めてかもしれません。

声を出し、一生懸命に練習に取り組んでいて、皆の真剣な顔、頑張る姿が嬉しい感動の3日間でした。仲間と刺激し合いながらとことん頑張る、小学部最後の合宿が無事終了し、また一回り成長できたと思います。さらに試合に勝てた成功体験で自信がついたように見えました。

親子タグラグビーでは個人的に子どもに完敗しましたが、とっても楽しかった！とても良い思い出になりました。

親ばかりですが、今回の合宿は褒めることいっぱい！ちゃんとがんばってたんだね～と息子を見なおした3日間でした。

子ども達と真剣に向き合ってご指導くださるコーチの皆様、合宿担当の5年のご父母の皆様、素晴らしい合宿をありがとうございました。



## 5年生



### 2015菅平夏合宿

5年生チーフコーチ 伊藤 信一

今年も暑い(熱い)夏合宿がやってきましたね。今回の夏合宿ではこの春から取り組んできたチーム力(組織力)の更なる向上、チーム全体の底上げに繋がればとの考えのもと、合宿に向けての練習メニューの事前擦り合わせ、それと他スクールへの練習試合の申込み調整などの準備を行い合宿に臨みました。実戦のなかで他チームと比べて我々がどの程度のレベルまであるのか、またその中で課題が見つけれればと考え、この合宿では練習メニュー以外にもミニジャンボリーへの参加、対外試合(6年生対抗戦含む)7試合をこなしました。

合宿での激しい練習に加え、試合ともなれば集中力も高めます。子供たちは暑いなか本当に大変だったと思います。ご承知の通り他県スクールは高学年括りの5、6年生合同チームでサイズ差もあり、結果こそ残す事は出来ませんでした。そんななかでも練習でやってきた事をひとつひとつ丁寧に、ひとりひとりが自分の役割を理解して戦うことが出来た時には次につながる場面が幾つかありました。この積み重ねと、全員が自分の役割を理解して、どんなに辛くても、苦しくても、痛くても、チームの為に仲間のためにカラダを張って試合では120%チカラを出し切る。そしてメンバー同士がコミュニケーション(声出し)良くなっていけば、チームとして上のレベルへ行けると思います。

これから県大会に向けて、あと一歩！もう一歩！！前に前に進んで行きましょう！！最後に合宿担当のご父兄皆さま、合宿では多大なるサポートを頂き誠に有難うございました。今年は更に随所に素晴らしい工夫があり年々積み重ねが出来ているなと感じました。感謝申し上げます。引き続きサポートのほど宜しくお願いいたします。

## 2015 年・夏合宿に参加して

ガラガラ声のコーチ 竹川

まず初めに、合宿担当のお母さん方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。いつも大変お世話になります、5 年生コーチ・竹川です。

今年も菅平にやってきました。麻生 RS にお世話になり早 10 年、今年で 9 度目の菅平です。息子の正剛(6 年生)も 8 回目の菅平合宿となり、最終学年ということで気合いも入っていたと思います。今年も初日に雨模様で心配しましたが、最終的には天候に恵まれたのではないのでしょうか？本当に気持ちよかったです。

今年の 5 年生の夏合宿のテーマは、『チームディフェンス』と『0(ゼロ)パターン』の徹底です。2 週間前に夏合宿に参加されるコーチと打合せをして決めました。『0(ゼロ)パターン』とは、タッチラインのギリギリまで、正に 0 メートルまで同じサイドを攻撃するという日本代表が使う戦術の一つです。とてもシンプルで 5 年生の子供たちにとっても理解しやすいと思い教え込みました。(この戦術のレパートリーとして、15 パターンがあります。)実際にはまだまだ本気で動いている子供もいますので、中々戦術の浸透が出来ておりませんが、いずれ実を結ぶと信じております。ジャンボリー大会、急遽設定した練習試合も含め、7 戦全敗の結果でした。しかし、子供達は相当“タフ”な経験が詰めたと思います。残念な結果ではありましたが、随所に気持ちの入った良いプレーもありましたし、個人個人には確実な成長を見られました。子供って、凄いですよね。。。。

来年は、6 年生で最終学年です。“痛い”とか言っていられません。多少の痛みは我慢してでもプレイをしなければならぬということです。麻生 RS の最終目標である、“6 年生で県大会優勝！”この目標に向かって、「三位一体」の精神で、頑張りたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

## 夏合宿を終えて

コーチ 山崎 裕二

夏合宿、本当におつかれさまでした。初日は雨でしたが、あとはいい天気(良過ぎ!?)に恵まれてメニューをこなせたのではと思います。私個人としても、コーチとしては、初の合宿参加でしたが非常に充実していました。

5 年生の試合の結果はさておき、目指しているチームとしてのラグビーの意識が子供たちに浸透してきていることが実感できました。まだまだチームとしての成長途中です。最後の最後に笑えるように、いっぱい練習して個人の能力をアップし、チームのプレイスタイルを完成させましょう。また、合宿では通常練習では見られないような表情で必死に頑張っている姿がみられ、頼もしく思える子がいっぱいいました。一人ひとりのがんばりが仲間を助けるプレイつながります。試合でもその気合で立ち向かって行きましょう。

最後に、合宿全般にわたりお世話頂きましたお母様たち、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼させていただきます。

## 試合の多かった夏合宿

コーチ 外岡 幸隆

こんなに試合の多かった(7 試合!)合宿ははじめてでした。相手は、6 年生との合同チームも多かったのですが、結果は出ませんでした。暑い中、最後まで、よく頑張ったと思います。練習をしてきたチームディフェンスは、最後まで崩れず、よくできました。また最後まで、あきらめずに追いかけてゴールを割らせないプレイも随所で見られ、感動しました。その結果が、菅平賞やコーチ賞に、あらわれたと思います。

一方で、攻撃の起点になる接点(ブレイクダウン)は、進歩は見られるものの、相手にターンオーバーされることが多かったです。そこを起点にディフェンスが整わないうちに、ボールを回され、トライを取られた

り、麻生のアタックのチャンスも少なかったことが、敗因となりました。接点に早くいくこと、低く入ることなど技術的課題はありますが、「戦う心」が、相手に比べて、劣るという「気持ちの問題」が大きいと思われます。絶対にボールを出す！絶対にボールを渡さない！という強い気持ちで、接点のボール争奪戦に勝てば、この学年の強みである俊足ボックスでトライが取れます。

県大会まで、あと2ヶ月弱です。暑い日が続きますが、ひとりひとりが、練習ごとに、課題を克服する目標をたて、しっかり練習していきましょう。そうすれば県大会でいい結果が出ます(出ると信じています)！

#### 夏合宿を終えて

5年 原田 康誠

僕はこの合宿でできるようになりたかった事が、二つあります。  
ひとつめは、タックルを上げしく行くことです。その目標は達成できたと思います。  
もうひとつの目標は、キャプテンとして試合中、声を出し続ける事です。  
この目標は、負けている時に声を出せなくなってしまったので、県大会の目標にして県大会ではできるようになりたいです。この合宿は途中で足を痛めてあまりいいコンディションではなかったけど、練習は頑張る事ができたと思います。  
だから県大会でもしっかりと全試合に出場して、仲間を引っ張っていきたいです。そして、優勝したいと思います。

#### 夏合宿を終えて

5年 石野 創太郎

今年の夏合宿の目標は「自分から進んでタックルに行く。」ということでした。  
試合中に意識してできたときもありましたが、タックルが高くなってしまったり、出遅れて抜かれてしまった時もありました。  
目標を達成したとは言えないので、これからの練習や試合でもずっと意識していこうと思います。  
また、今回の合宿でコーチがよく言っている「一人ではラグビーできない」という意味がよく分かりました。  
アタックディフェンスの時など一人で行っても全然攻めきれなかったのも、みんなの力を合わせないとダメだと思いました。  
これからもみんなの中の一人ということを忘れず、しっかりパスをつないでいきたいです。

#### 合宿でがんばったこと

5年 卯月 快杜

ぼくが合宿でがんばったことは、オーバーを試合で10回以上することです。  
10回できなかった試合があったので次の試合ではできるようにがんばりたいです。

#### 夏合宿を終えて

5年 奥川 煌星

今回の合宿では、チームの中に怪我をしたり、具合が悪くなったりした人が結構居て、自分は全然、大丈夫だったので、試合に出て頑張りました。声もいっぱい出せたと思います。左ウイングの仕事もよく分かりました。今後はタックルを身体でいけるように頑張ります。

#### 夏合宿を終えて

5年 黒須 楓

「3泊4日の中で試合がたくさんありました。初めてやったチームには強い5年生がたくさんいて、僕ももっと強くなって試合で勝てるようになりたいと思いました。  
僕はタックルをするとき、むねではなくて手でいってしまうことが多いので、これからは誰にでも当たる勇氣と、タックルは下から上へ持ち上げられるように頑張って、9月からの試合で沢山勝ちたいです。」

## 夏合宿

5年 斎川 春朗

今年の合宿は、4はんの ふくはん長でした。夜ふかししないでしっかりねました。次の日から7試合してそれがきつかった。全試合負けたけど、中条ラグビースクール以外はみんながもうちょっとがんばれば勝てない試合ではなかった。県大会ではとくに大和とはた野には絶対勝ちたい。最後のとち木の試合でセンターで出てクロスがうまく行って良かった。バーベキューは楽しかった。

## 夏合宿を終えて

5年 佐々木 廉人

今年の合宿は、初めてみんなと一緒にの出発ではありませんでした。一泊少ない分も頑張らなければ！と新幹線で菅平へと向かっている間、ぼくは思っていました。ですが、グラウンドに着いてからは練習についてくのもやつのことでした。もっと強い気持ちで、ラグビーができるようにならなければと思いました。

## 合宿の反省

5年 佐藤 祐太郎

合宿で頑張ったことは相手に当たるときに、低い しせいで、当たるようにしたことです。土曜日の最後の練習ではそれがしっかりできたと思います。でも日曜日の、試合では、それをいかしきれなかったのが残念でした。反省したいところは、日曜の試合のときボールの方によってしまったので、次はボールによらず、自分の前の人をしっかり見ていられるようにしたいと思いました。合宿で、できなかったことをできるようにして県大会につなげていきたいです。

## 夏合宿を終えて

5年 佐藤 仁紀

ぼくは五年生で、初めて全部参加したので、練習は苦しかったけど楽しいこともたくさんありました。一日目には雨がふって大変でした。二日目はサニアパークで試合がありましたが、鼻血を出してしまい試合には出られずに残念でした。最後の日のランパスは、4年生のときはお腹が痛くなってしまいましたが、今年ががんばって最後まで走ることができました。二日目の夜のBBQと花火はすごく楽しかったです。

## わくわく

5年 菅田 光真

わくわくドキドキ。最初の日からわくわくドキドキした。理由は合宿が楽しみだったからだ。合宿は、ぼくなりにがんばれたし、「たっ成感」がある。たとえば、大和との練習試合でトライが取れそうな時、できるだけ前に出ようとふんばれた。あと、グラウンドでの練習でも自分からヘッドダッシュに、「ちょう戦」しようと努力した。だから「たっ成感」があった。そして、これから県大会に向け、ふだんの練習を全部自分から、「ちょう戦」したいし、家でも練習をしたい。

## 夏合宿を終えて

5年 高橋 遼成

4年生の合宿では1試合目ですぐ骨折をして、残り3試合出られなくてくやしかったので、今年は、けがをしないようにしたいと思った。だけど、今度は足をくじいて、サニアの試合に出られなくてまたくやしかった。その後のおかわり試合には、出れたけど思いっきりプレイができなかった。来年こそけがをしないで、練習も試合も全部思いっきりやりたい。そのために、けがをしないストレッチをして脚をきたえる。

### 夏合宿を終えて

5年 夏川 凌一

僕の夏合宿の目標は「タックルを体で当たる」でした。

今までは、怖かったり、相手の動きが読めず手でタックルしていました。手でタックルすると、相手にぬけられすぐトライされてしまうので、合宿では少しでも相手についていける様、練習や他の人の試合を見て勉強しました。少しずつ、ついて行ける様に、これからも頑張ろうと思います。

### 菅平合宿の思い出

5年 畑佐 健太郎

頑張ったことは、地獄のランパスを、最後まであきらめないで、「声」を出したことです。

できなかったことは、試合中にノックオンやスローフォワードなどが多かったことです。

ジャンボリーでは、相手チームにラインを作る早さで負けて、麻生のラインができていない間を抜かれて、点を取られることがあったけど、練習後ラインを早く整え、ラインを面で保つことができるようになったので、今後も、必ずできるようにしたい。

### 夏合宿を終えて

5年 土方 将嗣

去年までは、夏合宿が、一番「いや」だったけど、今年はとても楽しく感じました。

また来年も合宿を がんばりたいです。そして、みんなを「声」で、ひっぱっていきたいです。



## 4年生



### 夏合宿を終えて

4年チーフコーチ 大坪 功

4年生は生徒全員14名の参加となりました。この事が何よりですね！初参加の生徒が4名、幼稚園の頃から菅平に慣れ親しんでいる生徒も数名。勝手をよく知っている生徒達が上手くりードし、キャプテン中心に元気いっぱい練習に取り組んでくれました。

初日の朝は生憎の雨だったので、大広間でのトレーニングを敢行する事に。体幹に始まり手押し車のリレーと楽しくハードに有意義に過ごせました。午後からは雨も上がりグラウンドに出て菅平の素晴らしい環境下で予定通り練習に励むことが出来ました。

技術面においては、二つの事に集中して取り組みました。一つ目はやはりタックルです。米元コーチの指導の元サイドタックルの練習を徹底的に行いました。1対1の真剣勝負です。始めは自分の不甲斐なさに涙ぐんでいた生徒達も目が真剣になるにつれ、バシバシ決められる様になってくれました。怖さを克服し思い切りよく入るタイミングを掴んでくれました。二つ目はラインメイクを意識した展開力です。ここは急きょダググスの小坂コーチにも指導して頂き、流れないように切り込む意識と速攻でラインを作り外へ展開する意識を掴んでくれました。小坂コーチのコーチングは流石、生徒達にも大好評。ありがとうございました！また、小坂塾を開いて下さい。

ジャンボリー大会は2勝。3年生も混ざっている相手だったので、麻生ペースで試合を運ぶ事が出来ました。何よりも、タックルを苦手としていた生徒達がバシバシ決めてくれた事が、コーチ一同驚きと感動でした！一皮も二皮もむけ自信を付けてくれました！これぞ菅平マジックですね。

菅平賞は最後の最後まで迷いましたが、本間春輝さんに決めました。初参加ながら常に全力で練習に取り組んでいる姿勢を評価しました。何より、この合宿を楽しみラグビーを楽しんでいる姿がより感じられたからです。

最後になりましたが、合宿担当の5年生のご父母の方々、また野田ママ中心にお手伝いを買って出

て頂いた4年生のご父母の方々、本当にありがとうございました。これからも三位一体で頑張っていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願ひします。

#### BBQで感じたこと、昨年に続いて・・・

4年担当コーチ 原田 泰一

お肉ください！ ご飯ください！ お肉ください！  
と昨年にもまして凄まじい勢いでなくなる食材を見て子供たちの逞しい成長を実感するとともに、今年は精神面でも少し大人になったなと感じ、嬉しくなりました  
食べる専門だった子供たちが周りに気を配り、皆にお皿はあるのか、コーチが食べていないから、僕が焼くよ。といった気遣いがBBQの随所で見られ『合宿』という集団生活が僅か4日間ではありますが心身ともに子供たちにとって、次に進む何かを遺してくれたのではと感じています  
皆が口を揃えて「タックルが出来た」と合宿の成果を発表していましたが、もう一つ、今年の夏は『皆でつなぐ意識』を強く持つことが出来た気がします。視野を拓げる、周りを見る、それがトライにつながるボールを持って走る専門だった子が、仲間にパスをしてトライを託す。そんなシーンが当たり前になる日はもうすぐかもしれません・・・

#### 夏合宿

4年 河合 真輝

皆で寝泊まりすることが楽しかったし、試合で勝てたことが嬉しかった。  
これからの目標は、試合でタックルを何本も決めたいです。

4年 大原 琉来

今回はタックルがうまくいかなかったので、来年はコーチのアドバイスをよく聞いて苦手を克服したいです。

4年 諸田 章彦

今回の合宿ではタックルをいっぱい練習して、みんなでプレーをし、フォローしあうことができるようになったと思った。練習はきつかったけど楽しかったです。ごはんもいっぱい食べました。来年も楽しみです。

4年 小田部 晃太

今年の合宿は、新しい練習がキツかったけど、面白かったです。試合では大和に勝てたことが嬉しかったです。BBQ では、美味しい焼肉を食べることができたので、次の日のランパスを頑張ることができました。今までの練習は楽しめたけど、5年生になったらもっとキツイ練習になるのももっと頑張りたいです。

4年 小坂 龍平

合宿ではタックルの練習をたくさんやりました。  
できるようになったのもありますが、サイドタックルの動きのタイミングがあまりわからなかったの、わかるようにしたいです。  
合宿中の試合では、まず、1試合めではオーバーができていたのでいいと思いました。  
2試合めではタックルができてなかったの、今度の試合や練習でもタックルをしたいです。

#### 夏合宿を振り返って

4年 野田 航佑

僕は夏合宿を通して、怖がらずにタックルが出来るようになった事が嬉しかったです。  
試合でもタックルができてよかったです。  
これからの目標はサイドタックルがうまく入れるようになることです。

4年 本田 翔太郎

僕は今年初めての参加でした。  
合宿とは、どんな練習をするのかな？1日中ずっとラグビーばかりするのかな？と行きのバスの中で考えていました。  
練習はきつかったけど、タックルの練習やパスや走り込みなど、普段出来ない練習を一杯しました。  
僕は走るのが苦手なので、来年の合宿はもっと走れるように努力します。  
花火大会も凄く楽しかったです。

4年 中野 竜之介

今年は合宿でタックルの練習をたくさんしたので、前よりもできるようになりました。  
一番効果があったのは、2日目に部屋の中でやったトレーニングだと思います。  
壁に手をつけて腰を低く落としてそのままキープするのがつらかったです。  
最後のランパスよりつらかったです。  
ランパスは、今年はもうちょっとできたかと思いました。

4年 本間 春輝

はじめての合宿だったけどとても楽しかったです。  
自分では声もだせて試合でタックルもできました。  
花火がとてもきれいでした。  
部屋でまくらなげをして楽しかったです。

4年 児玉 悠希

夏合宿はとても楽しかったです。  
とにかく楽しいことしか思い出に残っていません。  
普段の練習では会えないコーチに教えてもらえるので、特別な感じがして楽しかったです。  
夏合宿の目標は達成できなかったけれど、タックルが上手になったので、嬉しかったです。  
ありがとうございました。

4年 小中 啄未

初めての参加でした。  
練習はとても疲れたけれど、楽しかった。  
なかでも、最後にやった毎年恒例のパス回しがとてもつかれた。

#### 夏合宿

4年 河合 真輝の父

自分なりに目標を立ててラグビーに取り組んでいるようです。  
いつまでも仲間とラグビーを楽しんでもらいたいです。

4年 諸田 章彦の母

今回の合宿もコーチの皆様、お手伝いのお父様お母様、そして合宿担当の5年生の保護者の方々には大変お世話になりました。お疲れ様でした。  
私は 19 日のみの参加でしたが、皆様のきめ細やかな下準備のおかげで子供たちはのびのびと、何の心配もなく楽しく合宿を過ごすことができていた様子を見ることができました。  
本当にありがとうございました！



夏合宿を振り返って

4年 野田 航佑の母

今年もコーチの皆さまありがとうございました。  
今回はタックル練習がキツそうでしたが、素晴らしく、すごい迫力で・・・頼もしくなったなあと思います。  
サニアパークでの試合でも前日の練習の成果が出ていて素晴らしい動きだったと思います。  
あとは、オーバー→ハーフ→センターへの連携スピードを上げると最強の学年になるのでは(！?)と期待大です。  
夏合宿お疲れ様でした。

4年 本田 翔太郎の母

コーチの皆様、まずは大変お疲れ様でございます。  
子供は今年の合宿初参加でしたが、とても有意義な夏休みのスタートとなりました。  
コーチの皆様、5年生の保護者の皆様による熱心なご指導、サポートにより安心して、子供の様子や成長など垣間見ることができました。  
来年の合宿はしっかり、お手伝い、サポート頑張ります。  
来年の合宿も何卒宜しくお願い致します。

4年 児玉 悠希の母

夏合宿を実際見に行ってみて、私が思っていた以上にかなりハードな練習をしている子供たちを見て驚きました。精神面の成長も感じました。すごく貴重な経験をさせていただいて、感謝しています。

4年 児玉 悠希の父

弱音を吐かずに練習にいそしむ息子の姿を見て、逞しくなったなと感心しました。  
愛情あるコーチの皆さんの指導のおかげだと感謝しております。

### 3年生の夏合宿

3年チーフコーチ 小山田 俊広

心配された天候も、19日初日の午前中こそ雨の中の練習となってしまいましたが、19日の午後からは、暑さもそれほどひどくはなく無事に終了することができました。全員大きなけがもなく帰ってこられたのが、一番の収穫だと思います。

3年生は、合宿で「走りながらパスをもらい、正確なパスを出す」「パスを出した後のフォロー」「接点でのディフェンス」「声を出す」以上4点をテーマにしました。

「走りながらのパス交換とその後のフォロー」は、対面パスと2人1組のヘッドダッシュで声の出し方などを注意しながら練習しました。練習ではうまくいっても、試合ではなかなか思うようにいきませんでした。ジャンボリーの対戦相手のコーチから「よくフォローに行ってつながりますね！」と称賛の言葉をいただいています。

「接点でのディフェンス」は、3人1組で当たる、寝る、オーバー、ピックアップをそれぞれ確認後、2か所のポイントで下りながらのディフェンスの練習しました。その成果は、19日の「ミニジャンボリー大会」で、4年生との混成チームに対して2連勝という結果につながりました。

「声を出す」は、初日の雨天練習からキャプテンが皆を引張り、率先して声をだし普段はあまり声の出ない子も大きな声が出せるようになりました。しかし、これも試合になると集中のあまり(そう思いたい)キャプテンが皆を鼓舞する声以外はあまり聞こえませんでした。

しかし、雨の中での練習開始から最終日のランパスまで、初めての合宿でみんなが得たものは大きいと思います。

3年生諸君、合宿で得られたものを忘れないようにしましょう。なんだっけ?とっていると思いますが君たちは大きく変わりました。これからの暑い中での練習で、確実なものにして秋の県大会に臨みましょう。

### 夏合宿 2015

3年コーチ 清水 賢一

三年生としての夏合宿が7月17日～3泊4日でスタートしました。

昨年も参加した子供もいると思いますが、三年生チームとしての夏合宿は今回が初めてとなりましたが、初日は、朝から雨で朝練習は中止で昼前に一時間位のグラウンドでの練習になりましたが、それまで室内で黒板を相手に講習だったので普段の練習よりも声が出て良いスタートでしたが、やはり午後練習からは普段通りに戻り、コーチ陣にかなり激を飛ばされてからは良くなり、この合宿では、パスの精度を上げて、走りながらパスを受け、良い姿勢でラックを作り、素早くオーバーをする事が出来るようにしたいと考えていましたので他の学年は何種類もの練習メニューを熟していましたが、三年生はパスとラック・オーバーの反復練習とチームとして陣形やセットの反復練習でしたが、日曜日の試合は二試合とも練習でやってきた事の80%は出来ていたのではないのでしょうか。子供達もかなり自信になって以前より声も出てきていますし、集合などの集まりも早くなって、その意味では三年生としての合宿は良い結果でしたと思います。

この後も秋の県大会に向けて、練習し交流戦などの試合でチームとして成長して良い成績で県大会を終われるイメージで指導していくつもりです。

御父母の皆様、夏合宿でのサポートそして試合の応援等有難うございました。

カッコイイ子供達がこの秋、観られる事を期待していただき、応援の程、宜しくお願いします。

### 合宿に参加して

3年 渡邊 柁也

僕は、合宿に行く前に「タックルが強くなりたい」と目標に書きました。

試合ではいつも、強気になれなくてボールに行けなかったし、タックルができなかったからです。

合宿に行って、頑張って声を出して練習して、コーチから色々な事を教えてもらって、強くなれたと思います。だから、合宿の試合はとても楽しかったです。

そして、菅平賞をもらえて凄く嬉しかったです。これからも、練習を頑張って、強くなりたいと思います。

## 夏がっしゆく

3年 日笠 あつと

グラウンドを毎日走るのがつらくて、全部のれんしゅうがつかったです。  
がっしゆくのもくひょうだった、あいてが取りやすいパスを出せるようになることはうまくできなかったので、これからもれんしゅうしてうまくなりたいです。  
タックルは、コーチに教えてもらって強くできたので、しあいにいかしたいです。

## 合宿の感想

3年 中川 琉佳

合宿の目標、ノックオンをしないようにする、ということでしたが、目標は、達成できたと思います。合宿は、練習は厳しかったですが、とても勉強になりました。また、来年も楽しみです。

## 夏合宿

3年 片岡 祐貴

僕はトライかタックルを試合で1回は出来るようにすることを目標にしました。  
トライは出来なかったけど、タックルは5回ぐらいできてよかったです。  
合宿で1番楽しかったことは試合形式の練習です。1番つらかったことはタックルの練習です。タックルはつらかったけれど、試合の時、練習のタックルが役に立ちました。

## 夏合宿

3年 児玉 瑛都

僕は夏合宿は低学年の時にきましたが、バスでみんなと一緒に行くのは初めてだったので楽しかったです。  
僕が一番うれしかったことは、2日目のかえでラグビースクールと長野少年少女ラグビースクールとの試合で勝ったことです。かえでラグビースクールには一点も取られなかったのが良かったと思います。  
夏合宿で練習したことをわすれずに、またこれからも練習して強くなりたいと思います。

## 夏合宿

3年 佐藤 巧

最後の日のランパスが辛かったけど、バーベキューと花火が楽しかったです。  
来年はもっと走るのが早くなって、思い切りタックル出来るようになりたいです。

## ラグビーのがっしゆく

3年 牛山 颯士

夏がっしゆくは、たいへんだったけど、たのしかったです。  
いちばんたのしかったのは、しあいです。たいへんだったけどたのしかったです。  
いちばんきつかったのは、ランパスです。これからのけん大会のためにがんばります。

## 合宿

3年 坂脇 優心

合宿では、いつもの練習よりもみんなが声を出していてよかったです。いつもはあまり声を出さない人が声を出したり、せっきょくてきにタックルに行くようになりました。

対面パスの時も100回できたので、ぼくはしゅう中が続いているのかな？とかんじました。

試合の時、声は出せましたが、点さがあるからと、少し気がぬけてしまい点数をとられてしまいました。けれど、はじめての合宿で二しようできて、うれしかったです。

## 夏合宿

3年 荒木 鷲摩

夏合宿の目標:

- 1)ハンドオフの使い方をうまくする
- 2)タックルの威力をもっと強くする
- 3)ハイタックルをしないようにする

夏合宿でできたこと:声を出すことと、目標は全部できた  
出来なかったこと:オーバーにうまく入れなかったこと

夏合宿の感想:

夏合宿はもっと仲間と分かり合えて親しくなれて良かった。菅平賞を取れなくてすごい悔しかった

## 初めての夏合宿

3年 日笠 温斗の母

家族から離れて3泊も過ごすことは今回が初めてで、普段からなんでも人任せなので、まわりのみなさんに迷惑かけないかととても心配でしたが、なんとか無事に最後まで参加できてホッとしました。

ジャンボリーの日に菅平へ応援に行きましたが、3年生のみんなが小さい体で精一杯練習している姿がとても頼もしく、また、試合ではその練習の成果が出ていて、その成長ぶりに驚きました。

これからも、刺激し合いながらみんなで仲良く楽しんでラグビーをやって欲しいです。

どんな強いチームになるか、とても楽しみです。

最後になりましたが、コーチのみなさま、合宿係のみなさま、お世話になり本当にありがとうございました。

## 菅平合宿

3年 児玉 瑛都 父 児玉 修

今年も夏合宿はサニアパークの試合より見学させて頂きました。

麻生の合宿(任意の低学年の合宿)に初めて参加した8年前、素晴らしい芝のグラウンドに感動したことが昨日のように思い出されます。

毎年来る度に感動するのですが、子供達にはこの芝の感触と匂いを思い存分味わい、良い環境の中で厳しく且つ楽しいラグビー合宿にして欲しいといつも思っております。

3年生は、コーチの方々からお話があるように、かつての3年生に比し、全体的に少し幼稚である子が多いため、この合宿で鍛えられ、どの程度成長するのか合宿前は楽しみにしておりました。

実際、普段は大人しい子が合宿中の試合でタックル・トライを決めたり、悔しさを前面に出す子が多いこと等、皆普段以上の力を発揮しており、初めての「菅平合宿」は今後に繋がる良い機会だったのではと思います。

まだ3年生！ これからかなりの伸びしろがあると思うので、コーチの話をよく聞き、やっとラグビーらしくなってきたプレーに磨きをかけて、秋の大会に備えてもらいたいと一父兄としては願っております。



#### 2015年低学年菅平合宿

2年チーフ 河合 淳一

今年の低学年の菅平合宿は、2年生6名、1年生4名、計10名で参加しました。

18日は練習、19日はジャンボリーに参加し4試合戦い、午後はダボスの丘に登り虫取り、夜はBBQ花火に参加、20日も最後まで練習に参加しました。

ジャンボリーでは、西東京RS、かえでRS、みなとRS、常総Jr.RSと戦い2勝2敗でしたが、結果よりも参加した子供たちが試合前に『今日頑張ること』を意識し、それが前面に出て取り組めた試合だったので、私は充実した内容だったと感じました。

日頃子供たちは日曜日の午前中という限られた時間しか一緒にいれませんが、この合宿を通して長い時間一緒にいた事で、子供たちはこれまで以上に近い存在になれたのではないのでしょうか。

今回合宿に参加した子供たちがあと何回菅平を訪れるかわかりませんが、今回の合宿を思い出す時があれば嬉しいと感じました。

がんばる

2年 すげた あおい

合しゆくで、トライを3本、タックルをいっぱいできました。  
らい年は、トライを5本、タックルを15回できるようにいっぱいれんしゅうして、がんばりたいです。

なつがっしゆく

2年 すぎうら けいすけ

枕投げや虫取りが楽しかったです  
後ろを向いてパスが出来るようになったことが良かったです。

なつがっしゆく

2年 ふくおか りょう

はじめて友だちといっしょにとまったり、山での虫とり、バーベキューや花火などすごしたのしかったです。  
ラグビーのしあいもいろいろなチームとできてたのしかったです。

なつがっしゆく

2年 くろす しょう

すがだいらで たくさんしあいができた。  
バーベキューと花火がたのしかった。つぎは ともだちといっしょに ねたいです。

なつがっしゆく

2年 せんしゅう はやと

トライいっぱいできた。タックルも。  
虫とりがいちばん楽しかった。また虫とりに来たい。

なつがっしゆく

2年 かわい りょうま

ラグビーは2しあいまけたけど、2しあいかててよかった。タックルとトライができた。みなで虫とりして楽しかった。

なつがっしゆく

1年 森 りく

はじめてのがっしゆくで、1ねんせい、2ねんせいのおともだちといっしょに、むしとりやバーベキューをしてたのしかったです。  
あと、さいごにみんなでやったランパスがいちばんたのしかったです。ありがとうございました。





## 菅平合宿を終えて

2年 福岡 遼の父

3年生になるまでは合宿にまだ参加しなくてもよいのではないかと考えていたのですが、息子が行ってみたいと言うので今回参加させていただきました。

いざ参加してみると、普段の練習とは全く違う雰囲気です。子供達もいつも以上に頑張っていたように思えました。最後の RUN パスではチームの一体感を感じる事ができ、非常に良かったです。

また、帰宅後息子に感想を聞くと行った全ての事が楽しかったという事で、来年から始まる本格的な合宿参加に向けて良い体験をさせていただいたと思っております。この体験を支えていただきました5年生のご父兄の皆様、コーチ陣の皆様本当にありがとうございました。

## ラグビーの練習がしたい！

1年 長江佑太朗 母 長江千愛

菅平の夏合宿から帰った小学1年の息子が毎日のように言っています。

今回は親と近くの宿に泊まりながら、1日のみの参加でしたが、それでも思っていた以上に親子ともに大変有意義な1日でした。

1年生は2年生と一緒に練習をさせていただき、試合にも一緒に参加させていただきました。

上手な2年生に囲まれての練習、非常に考えられた練習内容、熱く愛情たっぷりにご指導いただけるコーチの皆様、今思い出してもワクワクして、今すぐにも菅平にとんでいきたいくらいです。

2年生との試合ではラグビーはみんなで戦うものだと肌で感じる事ができたと思います。

息子が倒されて前に進めないとき、必ず助けてくれて、必ずかわりに敵陣につっこみ、トライを決めてくれる2年生がいました。助けてもらえなかったことはありません・・・。

反対に仲間が困っているときには必ず助けに行かなければならないと肌で感じる事ができたことが、今回の合宿の最大の収穫であったと思います。

練習以外にも、みんなで丘にのぼって虫取りをしたり、牧場でソフトクリームをたべたり、ひつじに餌をあげたり、バーベキューをしたり、こどもたちの笑顔が絶えない数日間でした。準備をしてくださった

合宿係の父兄の皆様には感謝の念にたえません。ありがとうございました。

親子ともに今まで以上にラグビーが、そして麻生ラグビースクールが大好きになった合宿でした。

今後ともラグビーの楽しさを伝えつつ、ラグビーが上達するよう正しい方向に導いてくださる素晴らしいコーチ陣、面倒みのよい尊敬できる先輩たち、そしてたくさんの素晴らしい友人たちに囲まれてラグビーができることに心から感謝しつつ、みんなの笑顔が絶えない麻生ラグビースクールの夏合宿に毎年親子そろって参加させていただきたいと思います。

## 夏合宿

1年 児玉 けんごの母

今回初めての合宿は、風邪で所々の参加になってしまいましたが、2年生と一緒にプレーすることができ、良かったです。練習だけでなく、花火などの楽しいイベントもあり、来年は体調万全で参加させたいです。

## 夏合宿

1年 森 りくの母

合宿中、コーチの方々には大変お世話になり、ありがとうございました。

自由で甘えん坊のりくが、合宿では私を遠ざけ自立したがっていたのは、ちょっと淋しいけど頼もしいと思いました。

がむしゃらに一生懸命練習する、格好いい2年生に混ぜてもらい、少しは成長したと思います。

合宿で覚えた、マイボール、ダウンボール、オーバーを忘れないように家でも時々思い出させるようにしています。

練習中だけでなく、合宿の間ずっと りくの面倒をみて仲良くしてくれた2年生のみんな、ありがとう。



### 夏合宿

1年 森琉(りく)の父

合宿では、コーチをはじめ皆様にお世話になりました。ありがとうございます。  
普段と異なる環境で、練習できたことは、琉にとってもとても良い経験になったと思います。  
周りをよくみる、声を出す、集中する、等いろいろ教えて頂いて少しは出来るようになったかな？  
という印象が持てました。  
これをきっかけに少しずつでも、ラグビーのことだけでなく、人間的にも成長するよう、願っております。



### 低学年の夏合宿

2年 せんしゅうはやとの父 兼 コーチ

有志を募っての低学年夏合宿。まずは2年河合チームを始め、実現にご尽力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。また5年生合宿係のお母様方におかれましては、諸々のご準備 そして練習場でのケアなどバックアップ体制万全で、安心してラグビーに打ち込む事が出来ました事、深く感謝致します。

天候が危ぶまれましたが、土曜日午後からは風雨も去り 思う存分 天然芝を満喫出来ました。

練習・試合・レクリエーション(ダボスの丘での虫捕り、牧場散策、BBQ、花火、練習後のスイカと味噌マヨのキュウリ！←めっちゃウマ) 盛りだくさんで、子供達にとって良い経験・思い出になったのは間違いありません。ちなみに我が家の愚息は、「来年 また虫捕りに菅平に戻って来たいっ(鼻息荒め)」と、合宿の趣旨を根本的に履き違えております(苦笑)。

サニアパークという素晴らしい環境で、こんな低学年のうちから試合が出来た事は 子供達のラグビー人生



(の始まり)において、財産ですね。このまま毎年この地に足を運び、菅平歴 ●●年と誇ってほしいです。  
麻生1年生は対戦相手が2年生中心という中で良く頑張りました。麻生2年生もしっかりと1年生をフォローして、普段はそうでもないですが、ちょっとだけお兄ちゃん・お姉ちゃんに見えました。  
今年参加した1年生は来年2年生として、今度は逆に1年生をフォローする側に回るんですよね。  
子供達が頼もしく成長していく姿を見る事が出来るのは 親として、コーチとして二重の喜びです。  
暑い中 奮闘した子供達の頑張りと、熱い大人達の想いが結びつき、とても良い合宿になったのではないのでしょうか。来年の夏合宿が今から待ち遠しいですね！

以上

## 春季交流大会

月日：6月7日(日) 11:00~16:00

場所：等々力陸上競技場

[3年生]

麻生 ○37 - 26● グリーンA

[4年生]

麻生 ○49 - 10● 川崎B

[5年生]

麻生 ○111- 0● YC

麻生 ○47 - 7● 川崎AB

[6年生]

麻生B ●31 - 46○ グリーン

麻生A ●14 - 55○ 川崎・グリーン

## リコーカップ

月日：6月14日(日) 9:00~16:30

場所：リコー砦総合グラウンド

[幼稚園]

麻生・多摩 ●20 - 0○ 田園C

[1年生] 【優勝】

麻生A △20 - 20△ 世田谷C

※抽選負け

麻生B ●20 - 25○ 世田谷D

麻生A ●30 - 35○ 世田谷E

麻生B ○ 不戦勝 ● グリーンB

[2年生] 【麻生A 優勝】

麻生A ○20 - 5● 世田谷C

麻生B ●10 - 60○ 田園D

麻生A ○45 - 10● 世田谷B

麻生B ●15 - 50○ 川崎B

<準決勝>

麻生A ○40 - 20● 世田谷A

<決勝>

麻生A ○30 - 25● 世田谷D

[3年生]

麻生 ● 5 - 20○ 世田谷A

麻生 ○25 - 15● 田園A

[4年生]

麻生 ○35 - 0● 多摩A

麻生 ●10 - 15○ 世田谷E

[5年生]

麻生 ●15 - 20○ 世田谷A

麻生 ○40 - 5● 世田谷B

[6年生]

麻生A ● 0 - 35○ 田園A

麻生B ●10 - 35○ 世田谷D

麻生A ●10 - 45○ 川崎A

麻生B ● 0 - 50○ 田園C

### 春季交流大会

月日：6月21日(日) 10:00~16:30  
場所：中野グラウンド

[3年生]

麻生 ○88 - 5● 鎌倉A

[4年生]

麻生 ○49 - 28● 田園A

麻生 ○104 - 0● 秦野

[6年生]

麻生 ○78 - 0● 厚木

### 春季交流大会 (ミルキー)

月日：6月28日(日)  
場所：ギオンフィールド

[幼児]

麻生 ●10 - 55○ 横浜B

麻生 ●20 - 40○ 田園B

[1年生]

麻生A ● 5 - 90○ 逗子葉山A

麻生B ○30 - 20● 田園A

麻生A ● 0 - 55○ 横須賀A

麻生B ○50 - 15● 横浜D

[2年生]

麻生 ● 5 - 60○ 相模原A

麻生 △25 - 25△ 秦野

麻生 ●30 - 35○ 大和A

麻生 ●30 - 35○ 横浜B

### 関東学院六浦高校ラグビー祭

月日：6月21日(日) 9:30~12:30  
場所：釜利谷グラウンド

[5年生]

麻生 ○66 - 0● 横浜B

麻生 ○35 - 40● 世田谷A

### 東海大相模ラグビー祭

月日：7月4日(土)  
場所：東海大相模グラウンド

[5年生]

麻生 ● 5 - 20○ 大和

麻生 ○ 5 - 0● 川崎

## 夏合宿

月日：7月18日(土)、19日(日)  
20日(月)

場所：菅平高原

### <菅平ミニラグビージャンボリー>

場所：サニアパーク

[低学年]

麻生 ○40 - 30● 西東京RS  
麻生 ○85 - 30● かえでRS  
麻生 ●35 - 50○ みなとRS  
麻生 ●20 - 40○ 常総ジュニアRS

[3年生]

麻生 ○50 - 20● 長野市少年少女RS  
麻生 ○30 - 0● かえでRS

[4年生]

麻生 ○50 - 5● 宇都宮市少年RS  
麻生 ○45 - 5● 大和RS

[5年生]

麻生 ●0 - 60○ 中条RS  
麻生 ●20 - 25○ 川口RS

[6年生]

麻生 ○65 - 0● 常総ジュニアRS  
麻生 ○50 - 10● 吉島・魚津ラグビー・フットボール少年団

### <交流戦1 (18日)>

場所：三光館G

[5年生]

麻生 ●10 - 40○ 秦野・厚木

### <交流戦2 (19日)>

場所：亀屋G

[5年生]

麻生 ●5 - 20○ 都留  
麻生 ●20 - 30○ 大和  
麻生 ●20 - 25○ 栃木

### <コーチ戦>

場所：三光館G

三浦組(黄) ●5 - 15○ 重住組(赤)

### <学年対抗戦>

場所：三光館G

1,2年生●25 - 40○ 3年生  
3年生 ●10 - 50○ 4年生  
4年生 ●5 - 35○ 5年生  
5年生 ●0 - 75○ 6年生



























































































































































## 編集後記

今年も3泊4日の合宿が終了しました。子どもたちにとって合宿は大きく変わるチャンスだと毎年思っていますが、どんな思いで参加しているのか合宿中は全ての子どものことを掴めないこともあります。

合宿後に書いてもらうリトルラグーマンの原稿では、不安を抱えていた子、寡黙ながらも高い目標を心に秘めて参加していた子、いろいろな思いを窺い知ることができます。

中学3年生、小学6年生は同じチームメートで参加できる最後の菅平合宿でしたが、さらに大きく成長し、秋の大会で活躍するための準備ができたのではないかと思います。

お忙しい中、原稿執筆・写真の提供をいただいたご父兄、コーチの皆様ありがとうございました。

編集長 野田